

株式会社 サンアンドホープ

I 法人の概要 (令和2年4月1日現在)

- 所在地 北九州市門司区大字猿喰 1157 番地の2
- 設立年月日 平成9年6月5日
- 代表者 代表取締役社長 住吉 隆広
- 資本金 270,000 千円
- 北九州市の出資金 12,000 千円 (出資の割合 4.4%)
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	6 人	0 人	0 人	6 人
常 勤	2 人	0 人	0 人	2 人
非常勤	4 人	0 人	0 人	4 人
職員	55 人	0 人	0 人	55 人

II 令和元年度 (24 期) 事業実績

(1) 事業の経過及び成果

当事業年度における我が国経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に穏やかに回復傾向にあるものの、10月の消費税増税後、駆け込み需要の反動がみられるなど、生活防衛意識が一層強まり、個人消費は低調なまま推移した。

肥料業界においては、政府により発表された「農林水産業・地域の活力創造プラン」を踏まえ、農業を成長産業とし、農業者の所得向上を実現するための改革を引き続き展開している。

一方で農業の機械化、農薬や生産技術の向上などによって農作業にかかる時間が減り、人手を多く必要としなくなったが、日本の農地面積の41%は傾斜地の多い中山間地域で大区画化や大型機械の導入などが難しく効率化ができないため、地域農業の担い手が育たない状況である。地域の高齢化も進んでおり、農業を止めてしまう人が増えてきているのが現状である。

このような状況の中、当社は園芸市場の縮小に伴う価格競争などもあり売上・収益が昨年に引き続き厳しい状況となっているが、当事業年度における営業成績は売上高 1,644,919 千円、経常利益 5,088 千円、当期純利益 2,813 千円と営業・製造経費のコスト削減に努めた結果、昨年より最終利益に若干の改善が見られた。

(2) 設備投資の状況

当期中に実施した設備投資の総額は 59 百万円であり、その主なものは、当社本社工場の自動計量機及び制御操作盤更新工事、包装機（部品）交換、小型配合設備の新規導入を行った。

(3) 資金調達の状況

該当する事項はなし。

(4) 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当する事項はなし。

(5) 他の会社の事業の譲受の状況

該当する事項はなし。

(6) 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当する事項はなし。

(7) 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得の状況

該当する事項はなし。

(8) 対処すべき課題

市場においては、人口減少による需要縮小や製品の価格競争、また、近年多発する自然災害により各企業の収益の確保が一段と厳しい状況となっている。

そのような中、当社においては、企業理念である障害者雇用の拡大を図ると共に、商品アイテムの削減、在庫数量の適正化、製品コストの低減等により一層努めながら、安全で環境に配慮した製品の安定供給を行う事が最も重要な課題となっている。

(9) 財産及び損益の状況の推移

区 分	第22期 (平成29年12月期)	第23期 (平成30年12月期)	第24期 (令和元年12月期)
売 上 高 (千円)	1,639,623	1,636,943	1,644,919
経 常 利 益 (千円)	13,265	1,538	5,088
当 期 純 利 益 (千円)	17,645	458	2,813
1株当たり当期純利益 (円)	3,267.64	84.93	520.96
総 資 産 (千円)	989,081	981,772	1,048,186
純 資 産 (千円)	551,257	551,715	554,529

(10) 重要な親会社および子会社の状況

① 重要な親会社の状況

当社の親会社は株式会社ニチリウ永瀬で、同社は当社の株式を81.85%(4,420株)保有している。
当社は親会社より肥料の生産を委託され、これを納入している。

② 重要な子会社の状況

該当する事項はなし。

③ その他

該当する事項はなし。

(11) 主要な事業内容 (令和元年12月31日現在)

事 業 内 容	主 要 製 品
製造・販売 入出荷・配送業務	家庭用園芸用肥料用土、園芸資材、専業農家用肥料用土、家畜、養魚用飼料
販売 輸出入	肥料及び飼料(製造)、農薬、農器具、花卉、種子、球根、苗木、生花及び造花、園芸用品、工業薬品、薪炭、キャンプ用品、ペット用品、ペットフード(製造)

(12) 主要な事業所 (令和元年12月31日現在)

本社・工場 北九州市門司区大字猿喰 1157番地の2

関西工場 兵庫県加西市鶴野町 1262番地の9

Ⅲ 令和元年度決算

1 貸借対照表

令和元年12月31日現在(単位:円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	808,227,280	流動負債	452,855,870
現金及び預金	87,463,303	支払手形	59,738,313
受取手形	171,781,801	買掛金	256,520,553
売掛金	320,909,170	短期借入金	53,376,000
商品	27,718,855	未払金	75,386,756
製品	77,424,007	未払法人税等	2,246,500
原材料	117,725,242	預り金	3,477,274
貯蔵品	2,527,200	仮受金	516,016
立替金	1,600	リース債務	1,594,458
前払金	782,396	固定負債	40,801,240
仮払金	63,000	長期借入金	27,170,000
未収消費税	2,676,700	退職給付引当金	6,960,000
貸倒引当金	▲845,994	役員退職慰労引当金	1,042,496
固定資産	239,958,890	リース債務	5,628,744
有形固定資産	231,916,073	負債合計	493,657,110
建物	160,233,686	(純資産の部)	
建物附属設備	2,668,832	株主資本	554,529,060
構築物	3,835,111	資本金	270,000,000
機械及び装置	58,318,206	利益剰余金	284,529,060
車両運搬具	2	繰越利益剰余金	284,529,060
工具器具備品	847,460		
リース資産	6,012,776		
無形固定資産	694,545		
ソフトウェア	1		
電話加入権	17,600		
リース資産	676,944		
投資その他の資産	7,348,272		
出資金	10,000		
敷金・保証金	1,880,000		
長期前払費用	20,540		
繰延税金資産	4,312,732		
長期貸付金	1,125,000		
		純資産合計	554,529,060
資産合計	1,048,186,170	負債及び純資産合計	1,048,186,170

2 損益計算書

自 平成 31 年 1 月 1 日

至 令和元年 12 月 31 日 (単位：円)

科 目	金	額
売上高		1,644,919,686
売上原価		
期首商品棚卸高	26,438,362	
期首製品棚卸高	79,617,019	
仕入高	697,677,810	
当期製品製造原価	695,926,845	
合計	1,499,660,036	
期末商品棚卸高	27,718,855	
期末製品棚卸高	77,424,007	1,394,517,174
売上総利益		250,402,512
販売費及び一般管理費		246,470,554
営業利益		3,931,958
営業外収益		
受取利息	38,811	
雑収入	1,690,393	1,729,204
営業外費用		
支払利息割引料	566,857	
雑損失	6,005	572,862
経常利益		5,088,300
特別利益		
貸倒引当金戻入	379,255	379,255
特別損失		
固定資産売却損	130,739	130,739
税引前当期純利益		5,336,816
法人税、住民税及び事業税		1,332,908
法人税等調整額		1,190,714
当期純利益		2,813,194

IV 令和2年度（25期）事業計画

従来通り製造業の基盤強化のため、品質の管理と安定供給を最重視する。また、家庭園芸分野だけでなく、農業全般に進出することを目指す。新しい生産設備を導入し、地域性を考慮した商品開発を行うなど、商品開発力強化と販路拡大をしていく。

V 令和2年度（25期）予算

自 令和2年1月1日

至 令和2年12月31日（単位：千円）

科目	予算額	
売上高		1,801,393
売上原価	1,514,664	
売上総利益		286,729
販売費及び一般管理費	260,404	
営業利益		26,325
営業外利益		558
営業外費用	836	
経常利益		26,047

VI 役員名簿

令和2年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役 (常勤)	住吉 隆広	株式会社ニチリウ永瀬取締役関連事業統括室長
取締役(非常勤)	金尾 佳文	株式会社ニチリウ永瀬代表取締役社長
取締役(非常勤)	徳永 祐治	株式会社ニチリウ永瀬取締役管理本部長
取締役(常勤)	大山 康彦	株式会社サンアンドホープ製造部・物流業務部部长
取締役(非常勤)	大曲 昭恵	福岡県副知事
取締役(非常勤)	鈴木 清	北九州市副市長